



# ☆ AWC事務局便り 1月号 ☆

今年もよろしくお祈りいたします

新年早々緊急事態宣言が発令され、落ち着かない年明けとなりました。命を守り、人と会うことができるだけ避けながら、経済を回していかなければならないという大きな課題の前で、私たちは何ができるのか不安な気持ちになってしまいますが、今こそSDGsの「誰一人取り残さない」というテーマをかみしめ、人とのつながりの大切さを胸に刻みながら活動をしていきたいと思っております。

## 若者たちの環境美化活動

昨年末からタイでもコロナの問題が再び深刻化しています。国籍もない子どももおり、安い賃金で働く彼らの生活は非常に不安定です。

そんな中、お互いさまプロジェクトで支援を続けている若者たちが、チェンライ県フエイチョンブー郡のノンフォーマルエデュケーション校舎周辺の環境美化活動と行いました。校舎の周りをきれいにするという目的に加え、同じ境遇の仲間たちと体を動かし、日頃彼らが抱えている不安や鬱々とした気持ちを発散するという効果も期待しての活動です。



清掃作業をする若者たち



満開のヒマラヤ桜

加えて、郡内の小さなパーラン小学校（全校生徒28名、ミエン族）で毛布の配布も行いました。この地方は標高が高く冬の夜間は気温が2度位まで気温が下がります。先週末に寒波が到来したので、凍死の危険も心配しています。電気やガスなど何も来ていない村では、家族全員が囲炉裏のまわりに集まって寝ているそうです。昨年9月の鉄砲水の時に届けた寝具や、今回の毛布は、今年の異常な冷え込み中で村の人々に大変喜ばれています。

作業をしたフエイチョンブーの山間部ではヒマラヤ桜が満開だったようです。送られてきた写真に心がなごみました。

## マスクチャーム

マリ代表の知り合いから、何かに役立ててほしいとアメリカのチャームをたくさんご寄付いただいたので、ボランティアの方が、コロナ禍でマスク着用の毎日を楽しむためのマスクチャームを作ってみました。可愛くて、おしゃれなものがいっぱい、ほとんどが一点ものです。売り上げはタイの子どもたちの生活支援に活用したいと思います。是非ご協力ください。



チャームは1点物が多いため、こちらで袋詰めさせていただきました。3個入り1セットで、送料込み1,000円です。ご希望の方は、AWC事務局にメールでお申し込みください。<awc@h6.dion.ne.jp>

お申し込みの時には件名を「マスクチャーム」とし、セット数、お名前、ご住所を必ずお書きください。チャームと一緒に郵便振替用紙を同封しますので、到着後お支払いください。

マスク着用が必要な毎日の中で、マスクもファッションの一つになっています。チャームをつけると、気持ちが明るくなりますし、これが社会貢献にもつながります。お申し込みをお待ちしています。数に限りがありますのでお早めをお願いいたします。